

学びと誇りが実感できるまち

～夢や希望、目標に向かって！～



令和4年1月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人

遠山に日の当たりたる枯野かな (高浜虚子)

新年明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

まず、庄原の子供たちが活躍していますので、3つ紹介します。

1つ目は、永末小学校が作成しています「食育カレンダー」のことで

永末小学校では、このカレンダーづくりに長年取り組んでおり、近年では「弁当の日」に焦点をあて、子供たちが、それぞれの家庭においてアイデアをいかして作った弁当を載せ、その工夫点も説明しています。子供たちの笑顔とともに紹介しており、一緒に食べてみたくなる素敵なカレンダーです。

※「弁当の日」：各学校ごとに弁当をつくる日を決め取り組んでいます。

2つ目は、庄原中学校生徒会執行部を中心として取り組んだモザイク作品のことで、テーマを「庄原を元気に」として、コロナ禍にあっても庄原が温かく元気なまちになるように願いを込めて作られました。1人4枚ずつの絵を描き、生徒全員で仕上げた絵は、合計：1600枚。それらをつなぎ完成した作品(約3m×3m)は、両手に包まれるハートが浮かび上がっている絵となっています。

3つ目は、「令和3年度 広島県 環境と健康のポスター標語コンクール」において、口和中学校第2学年、岩竹美羽さんのポスター作品が、最優秀賞 県知事賞に選ばれました。また、優秀賞・奨励賞などにも庄原の子供たちの作品が6点、入賞しました。おめでとうございます。

さて、今回は、新年を迎えた子供たちが、これまでの生活を振り返り、どんな年にしようかと、夢や希望、そして目標を立てていると思いますので、是非ともそれに向かって、努力を惜しまず、ねばり強く、取り組んでほしいと思い、小学校国語科の教科書に載っている「紙風船」(黒田三郎)の詩を紹介します。

紙風船

黒田三郎

落ちてきたら
今度は
もっと高く
もっともっと高く
何度でも
打ち上げよう
美しい
願いごとのように

紙風船は、昔からのおもちゃで、息を吹き込み、膨らませポンポンと手で打ち上げて遊びます。中の空気が少しずつ外に抜けてしまうので、また息を吹き込んで膨らませます。

紙風船は、いくら打ち上げても下に落ちてきます。だから、もっと高く、何度でも打ち上げよう、「美しい願いごとのように」と語りかけています。声に出して読み、考え、じっくり味わってみてほしい作品です。

